

将来ビジョン及び必要な取組・事業

提案主体名	町づくり塾		※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入してください。			
提案プロジェクト名	地域復興化事業		※同一主体で複数の提案をする際は別名称としてください。			
都道府県名	岩手県		※複数の都道府県にわたる場合は「、」で区切って記入してください。			
対象地域 市町村名			※複数の市町村にわたる場合は「、」で区切って記入してください。 ※特定の地区を想定している場合は、それも合わせて記入してください。			
① 関連する分野	環境 () 超高齢化 () その他 (観光)		※国際連携・国際化に関する事項は、分野ではないため、「その他」欄に記載しないでください。			
② 将来ビジョン(環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標 (2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿))			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。			
2050年には岩手県のリアスが世界のジオパークをリードする地域となる。まず必要なことは環境負荷が少なく、超高齢化に向けて公共交通機関の整備である。ひとつめは、鉄道である。地元文化を地域に根付かせ、国内外からも注目を浴びた三陸鉄道の復活は欠かせない。ふたつめは、バスである。これには鉄道との連携が不可欠で、連動した取り組みにする。みつめは、船舶である。国内外のジオパークを結ぶのが船舶である。2020年には三陸鉄道が安定運営されており、バスの運行も地元住民の足として利用できる状態となっている。環境負荷の少ない公共交通網が完成する。地元産品を東京で販売することにより岩手県への観光需要を促進する。2030年には社会的・経済的価値のある観光産業へと発展させる。最終的には、若い地元住民の育成により、後継者育成システムの確立を目標とする。						
③ 将来ビジョン(②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方)			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。			
被災された地元住民の方々が、今後愛着を持ち続け生活できるようにするためには、三陸鉄道の復興は欠かせない。三陸鉄道の魅力は何と言っても宮沢賢治の世界である。特に「銀河鉄道の夜」を現実の世界に落とし込んだのが三陸鉄道である。岩手県の文化を凝縮したこの作品は、困難な状況に陥った時には「原点回帰」ということで、地元住民の方々が取り戻したい世界を表現するためには地元文化を下地にした三陸鉄道が華やかに活躍していた時代を取り戻し、持続可能な取り組みにしていくために、宮沢賢治の世界を崩さず革新し続けることが大切である。三陸鉄道はこの地域の文化を運び、そして他の文化も運んでくれる。また、船の利用により、国内に止まらず海外にも文化を運び、海外から文化を運んでくれる。						
④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)						
番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を()内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	銀河鉄道の夜明け	目標実現のために、国と岩手県だけでなく東京都の支援をお願いしたい。三陸鉄道の駅の地元産品を東京都の駅との連携により、店舗を設け販売する。この連携には企業にも参加を募りスポンサー列車を走らせる。イベントの際にはスポンサー列車は東京ー岩手間を走ることもある。店舗運営には、地元出身の学生をインターンとして受け入れることで後継者育成にもつながる。この循環の中で若者の育成だけでなく、若者の新しい発想を取り入れ、革新に次ぐ革新を起こし、持続可能な取り組みにしていく。こうした取り組みにより、人の動きを活発化し観光産業の発展につなげる。東京都と東北が支え合う体制作りとする。				○
(2)	銀河客船の夜	節電に努めることにより夜の暗さを表現し、客船からの街の明かりが引き立つ。特に三陸鉄道が銀河鉄道のイメージに近づく。				○
(3)	銀河客船の夜明け	船を利用した朝市の開催。場所を固定しなくてもよいというメリットがある。				○
⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容			※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。			